

太陽系内の日本に関する地名

Japan-related Topographical Names in the Solar System

佐藤 健 (山陽女子短期大学)

はじめに

The NASA Atlas of the Solar System (Ronald Greeley・Raymond Batson 共著、1997年 Cambridge University Press 発行 ISBN 0-521-56127-2) という太陽系天体の地図帳がある。縦50cm、横31cm、369ページの大冊である。この地図帳の地名索引にあるもののなかから日本に関する地名を拾い出してみた(この地図帳の地図自体には、索引にある地名の一部しか表示されていない)。この索引に示されている情報は、その名の地形が所属する地図のページのほかには「地名」「緯度・経度」「大きさ(直径または長さ)」「地名の由来」であるが、以下では、これらを引用すると共に、必要に応じて[]に私自身の注釈やコメントを加える。なお原本の「地名の由来」の多くには「Japanese(日本の)」という形容詞がついているが、ここでは一部のものを以外、省略する。私には、地名の由来や地形の種類に確信の持てないものも多いし、不明のものもあるが、ご存知の方はご教示頂きたい。また、この地図帳の索引から脱落しているものや、この地図帳以後に命名されたものがあるかもしれないが、それもご存知の方はご教示頂ければ有り難い。

水 星

Bashō (芭蕉) 32.7S 169.7W 80km

詩人(俳人) 松尾芭蕉(1644-1694)

Eitoku (永徳) 22.1S 156.9W 100km

画家 狩野国信(1543-1590)の雅号

Futabatei (二葉亭) 16.2S 83.0W 66km

小説家 二葉亭四迷(1864-1909)

Harunobu (春信) 15.0N 140.7W 110km

画家 鈴木春信(1720または1724-1770)

[佐藤所有の百科辞典では1725-1770]

Hiroshige (広重) 13.4S 26.7W 138km

画家 安藤広重(1797-1858) [別の資料では生没年は不確か。]

Hitomaro (人麻呂) 16.2S 15.8W 107km

歌人 柿本人麻呂(655頃-700または710)

Kenkō (兼好) 21.5S 16.1W 99km

著作家 吉田兼好(1283-1352) [別の資料では生没年は不確か。]

KōShō (こうしょう) 60.1N 138.2W 65km

彫刻家(13世紀) [運慶の四男康勝であろう。]

Kurosawa (くろさわ) 53.4S 21.8W 159km

K. (18世紀) [これだけしか書かれていないが、尺八演奏家 黒沢琴古であろう。]

Murasaki (紫) 12.6S 30.2W 130km

小説家・歌人 紫式部(978または1014-1026) [平凡社世界百科事典には、978年生という説は誤りとある。]

Ōkyo (応挙) 69.1S 75.8W 65km

画家 円山応挙(1733-1795)

Saikaku (西鶴) 72.9N 176.3W 88km

小説家 井原西鶴(1642-1693)

Sei (清) 64.3S 89.1W 113km

日記作家・歌人 清少納言(966頃-?)

SōSeki (漱石) 38.9N 37.7W 90km

小説家 夏目漱石(1867-1916)

Sōtatsu (宗達) 49.1S 18.1W 165km

画家 俵屋宗達(1600-1643) [別の資料では生没年不詳。]

- Suisei Planitia (水星プラニティア) 59.2N
150.8W -
日本の伝令神 [日本語の「水星」に伝令神の意味はないので、この説明は間違い。「水星平原」という意味である。]
- Takanobu (隆信) 30.8N 108.2W 80km
歌人・肖像画家 藤原隆信 (1142-1205)
- Takayoshi (隆能) 37.5S 163.1W 139km
画家 藤原隆能 (12世紀)
- Tsurayuki (貫之) 63.0S 21.3W 87km
有名な文学者 紀貫之 (945頃) [佐藤所有の百科辞典には「?-945」とある。]
- Unkei (運慶) 31.9S 62.7W 123km
彫刻家 運慶 (1148頃-1223) [別の資料では、没年も確実ではないようである。]
- Zeami (世阿弥) 3.1S 147.2W 120km
劇作家・脚本家 世阿弥 (1363頃-1443)
[水星の地名の大部分は芸術家の名前である。また、日本関係のものは、「水星プラニティア」以外、いずれもクレーターである。]
- 金星**
- Akiko (晶子) 30.7N 187.1E 24km
歌人 与謝野晶子 (1889-1966)
- Benten Corona (弁天コロナ) 16.0N 340.0E
310km
愛と豊穡の女神 [佐藤所有の百科辞典では「幸福・知恵・財福・音楽の女神」。「コロナ」は金星の場合、尾根や溝が1つの中心を幾重にも取り巻いて作る巨大な円形地形。]
- Chiyojo (千代女) 47.8S 95.2E 35km
日本の女流詩人 [これだけしか記されていないが、俳人加賀の千代 (1703-1775) であろう。]
- Fukiko (ふきこ) 23.2S 105.7E 15km
日本人のファーストネーム [これだけしか記されていないが、日本人女性の代表的な名前ということだろうか?]
- Hayashi (林) 53.7N 244.1E 38km
作家 林芙美子 (1903-1951)
- Himiko (卑弥呼) 19.0N 124.2E 35km
日本の女王 (4世紀)
- Ichikawa (市川) 61.6S 156.4E 36km
男女同権運動家 市川房枝 (1893-1981)
- Inari Corona (稲荷コロナ) 18.0S 120.3E
300km
日本の米の女神 [佐藤所有の百科辞典には「五穀をつかさどり農作物を守る」とある。]
- Isako (いさこ) 9.0S 277.9E 13km
日本人のファーストネーム [日本人女性の名前として代表的とも思えないが、どのようないきさつによる命名だろうか?]
- Izumi Patera (和泉パテラ) 50.3N 193.6E 74km
作家 和泉式部 (974-1036) [「パテラ」は縁が不規則で火山性と思われる浅いクレーター。]
- Kamui-Huci Corona (かむいふちコロナ) 63.5S
322.0E 300km
アイヌの大地の女神 [木星の衛星イオの「Fuchi Patera」の「Fuchi」と同一の女神か?]
- Kayanu-Hime Corona (草野姫コロナ) 33.5N
57.0E 150km
神道の穀物の女神 [鹿屋野比売とも書く。草の女神ともいう。]
- Masako (政子) 30.2S 53.1E 26km
日本の支配者 北条政子 (1157-1225)
- Ningyo Fluctus (人魚フルクツス) 5.5S 206.0E
970km
日本の魚の女神 [「フルクツス」は溶岩流地帯。]
- Noriko (のりこ) 5.3S 358.3E 7km
日本人のファーストネーム
- Ohogetsu Corona (大宜都コロナ) 27.0S 85.7E
175km
日本の食物の女神

Seoritsu Farra (瀬織津ファルラ) 30.0S 11.0E
230km

日本の川の女神 [[Farra] の意味は不明。ラテン語ではないかと考えて、辞典を引いてみたが、見当たらない。]

Tamiyo Corona (たみよコロナ) 36.0S 297.5E
400km

日本の富裕の女神 [[たみよ] は「日本神名辞典」(神社新報社、1994年発行)にない。「Tomiya (「登美夜比売」) のミスプリントか?]

Toyo-uke Corona (豊受コロナ) 62.5S 41.5E
300km

神道の豊作の女神 [食物の女神、特に稲の女神。]

Ukemochi Corona (保食コロナ) 39.0S 296.1E
300km

日本の豊作の女神 [[五穀の女神]]

Yoshioka (吉岡) 32.4S 58.8E 20km

医師・大学創立者 吉岡弥生 (1871頃-1959)

[金星の地名の大部分は女性名である。これは金星が愛と美の女神ヴィーナス (Venus) で、女性だからである。この地図帳の金星の地図は地形の種類を判別しにくい、地形の種類名が付いていない地形はどれも恐らくクレーターであろう。]

月

Asada (麻田) 7.3N 49.9E 12km

天文学者 麻田剛立 (1734-1799)

Hatanaka (畑中) 29.7N 121.5W 26km

天文学者 畑中武夫 (1914-1963)

Hirayama (平山) 6.1S 93.5E 132km

天文学者 平山清次 (1874-1943)、天文学者 平山信 (1867-1945) [1個のクレーターで2人を代表]

Kimura (木村) 57.1S 118.4E 28km

天文学者 木村栄 (1870-1943)

Murakami (村上) 23.3S 140.5W 45km

物理学者・天文学者 村上春太郎 (1872-1947) [月の運動理論を研究した。]

Nagaoka (長岡) 19.4N 154.0E 46km

物理学者 長岡半太郎 (1865-1940)

Naonobu (直円) 4.6S 57.8E 34km

数学者 安島直円 (1732頃-1798)

Nishina (仁科) 44.6S 170.4W 65km

物理学者 仁科芳雄 (1890-1951)

Onizuka (オニヅカ) 36.2S 148.9W 29km

チャレンジャーの乗組員 エリソン・ショウジ (Ellison Shoji) オニヅカ (1946-1986) [スペースシャトルの爆発事故で死亡した日系米宇宙飛行士。]

Osama (おさま) 18.6N 5.2E -

日本人男性の名 [[「おさむ」] のミスプリントか?]

Taizo (たいぞう) 16.6N 19.2E 6km

日本人男性の名

Yamamoto (山本) 58.1N 160.9E 76km

天文学者 山本一清 (1889-1959)

Yoshi (よし) 24.6N 11.0E 1km

日本人男性の名 [[「おさま」「たいぞう」「よし」] の正体は、この地図帳では分からないが、クレーターか? その他はすべてクレーターである。]

火星

Aki (あき) 36.0S 60.5W 8km

日本の町 [高知県安芸市? 大分県安岐町? 広島県安芸町 (1974年に広島市に合併)?]

Bise (びせ) 20.2N 56.5W 9km

沖縄の町 [沖縄県本部町字備瀬か?]

Kagoshima (鹿児島) 47.6N 224.1W 1km

日本のロケット打上げ基地

Kasei Valles (火星ヴァレス) 22.8N 68.2W
2,222km

日本語の「火星」 [[「ヴァレス」] は「谷」。したがって「火星谷」の意。]

Kin (きん) 20.4N 33.4W 7km

日本の町 [沖縄県金武町か?]
 Ōmura (おおむら) 25.7S 25.0W 8km
 日本の町 [長崎県大村市か?]
 Tōno (とうの) 45.2S 52.2W 10km
 日本の町 [岩手県遠野市か?]
 Tsukuba (筑波) 48.9N 225.9W 2km
 日本の衛星コントロールセンター
 Wassamu (わっさむ) 25.5N 53.0W 17km
 日本の町 [北海道和寒町か?]
 [[あき][びせ][きん][とうの][わっさむ]
 はクレーターかと思われるが、この地図では
 確信を持ってない。「おおむら」はこの地図では
 分からない。「鹿児島」「筑波」は、この地図
 の縮尺には小さすぎる。しかし、恐らく、い
 ずれもクレーターであろう。なお、火星の小
 型クレーターには、国連年鑑の人口10万人未
 満の町村 (village) の名を付けるルールがあ
 るとのこと。このルールには鹿児島市の人口
 は多すぎるが、ロケット基地のある内之浦町
 を指しているのだろう。]

小惑星ガスプラ (Gaspra)
 Beppu (別府) 3.9N 58.4W 5km
 九州の温泉地

[この小惑星の地名は地球上の保養地の名に
 由来する。これはこの小惑星の名が黒海北岸
 クリミヤ半島の保養地ガスプラに由来するか
 らである。この地図帳にはこの小惑星の写真
 が1枚あるだけで、地図がないので「別府」の
 正体は不明だが、恐らくクレーターであろ
 う。]

木星の衛星イオ (Io)
 Amaterasu Patera (天照パテラ) 37.7N 306.6W
 100km
 日本の太陽の女神 [イオの場合の「パ
 テラ」は火口とそれを取り巻く噴火堆
 積物。]
 Fuchi Patera (ふちパテラ) 28.4N 327.9W
 45km

アイヌの火の女神 [金星の「Kamui-
 Huci」と同一の女神か?]
 Hiruko Patera (ひるこパテラ) 65.1S 329.3W
 80km
 日本の太陽の神 [[蛭子]か?「蛭子」
 は「日る子(日の子)」であるとの説が
 ある。]
 Masubi (ますび) 43.6S 54.7W -
 日本の火の神 [大規模な溶岩流? 巖
 島神社によれば、この神名は見当たら
 ないという。「Musubi (産霊)」のミス
 プリントか? 「産霊神」は産物の神の
 総称。火の神は「火産霊神」。自尾元理
 氏によれば、富士山の溶岩流を意味す
 る「Marubi (丸尾)」の可能性も。]
 Raiden Patera (雷電パテラ) 13.4S 235.7W
 70km
 日本の雷の神
 Sengen Patera (浅間) 32.8S 304.3W 55km
 富士山の御神体
 [この衛星の地名の大部分は火に関係してい
 る。これはこの衛星が太陽系で火山活動が最
 も激しい天体だからである。]
 土星の衛星レア (Rhea)
 Izanagi (伊邪那岐) 49.4S 310.3W -
 日本の創造の神・伊邪那美の兄 [地図
 の地形が描かれている領域の端の部分
 に巨大クレーターの西半分と思われる
 ものが描かれている。]
 Izanami (伊邪那美) 46.3S 313.4W -
 伊邪那岐の妹で妻・創造の女神 [[伊邪
 那岐]の外壁上の寄生クレーター。]
 [この衛星の地名は各国の天地創造神話から
 選ばれている。これは、この衛星の名がゼウ
 スをはじめとするギリシャ神話の主要な神の
 母レアに由来するからである。]
 海王星の衛星トリトン (Triton)
 Namazu Macula (鯰マキュラ) 25.5S 14.0E -